

オナナのつま先



IHARU

## オンナのつま先

---

膝から下に意識を集中させる

骨が2本あることを感じてみる

むきだしの足で跳ねまわった頃の

足の記憶を辿ると

地表と足裏は親友で

いつも漲る地熱が 躰を伝い沁み渡っていた

\*

淡いユーロピンクのリボンが巻かれ

柔らかなサテンに包まれた足で

軽やかに宙を舞った頃

足は地表に別れを告げ私の躰と親友になった

足は憶えている

弛みなく揃えられたつま先に

渦巻いていた喜びを

\*

いま 私は

几帳面な足音が似合うオンナ のフリをしている

踵は高く持ち上げられ

体重が極端につま先方向へ移動し 押し込められる

我慢を強いられがちなオナナの足となった

一体何の為の我慢なのかと自問しながらも

ほんの僅かな自尊心を

つま先で死守しているようで

血を滲ませながらも

訓練された歩き方で つま先を絞り続ける

オナンのつま先



## フレアスカートの秘密

---

砂浜に辿り着くさざ波のような  
フレアスカートは素敵  
波打って蝶のように舞う  
ヒラヒラと

花言葉は「短い愛」 朝顔のような  
フレアスカートは素敵  
波打って太陽を忍ばせる  
シャリシャリと

簡単いひらり翻る 私のころのような  
フレアスカートは素敵  
遠慮なく他人の傘に入り  
ペラペラと

気が付くと  
美しかったヒダは平になって  
スカートの裾が窄まり始め  
やがて丸く閉じた

私は起き上がりこぼしのようになり  
身動きできない  
ヒダに隠した秘密も嘘も零れ落ち  
私は階段を転げ落ちていた  
ゴロゴロと

